

不在個所の空調停止

運用改善 メンテナンス チューニング 設備更新

○ 使用していない会議室や従業員不在のスペースなどのエアコンを停止することで節電になります。

試算例

8時30分～17時30分の間、会議室不使用時にエアコンを停止すると...

■ 節電効果：**節電効果 2万円/年** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 2.5kW
節電電力量 約 900kWh

■ 対策内容： 不在エリアのエアコン停止

■ 計算式： 節電電力(kW) = 定格消費電力 × 最大負荷率

節電電力量(kWh) = 定格消費電力 × 平均負荷率 × 対象時間
× 対象日数 × 不在率

(試算条件)

定格消費電力: 3.5kW(パッケージエアコン [シングルタイプ] 5HP × 1台)

最大負荷率: 70%(仮定)

平均負荷率: 40%(仮定)

不在率: 30%(仮定)

対象時間: 9時間/日(8:30～17:30)

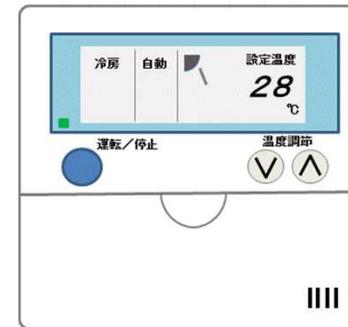
対象日数: 250日/年

[実際の試算では、ご使用機器の仕様や対象時間及び日数などを考慮した数値をご使用ください]

ポイント

- 人感センサーやリモコンの消し忘れ防止機能の活用が効果的です。
- スイッチに「不在時は停止」等の注意喚起の表示をすることも意識付けのうえで重要です。

参考



個別リモコン

リモコン機能にはスケジュールタイマーや消し忘れ防止機能等、様々な省エネ機能が搭載されておりますので、そのような視点で取扱い説明書を再確認することをお勧めいたします。



不在個所の空調停止イメージ

注) 本内容はお客さまの運用状況等によって異なる場合がございます